

クラゲ飼育水槽 Jelly Cube HC-01

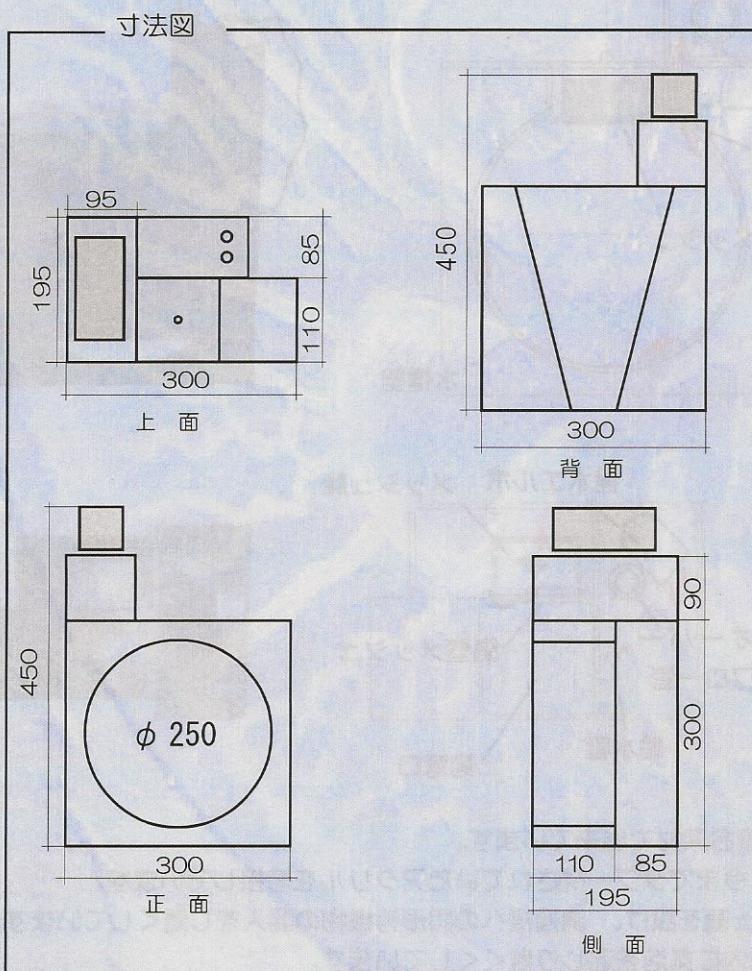
クラゲはプランクトンの一種で、水流の刺激によって拍動したり浮遊したりします。大きな水槽では水流を与え易く、クラゲの生態に合った環境を作り易いのですが、小さな水槽でその様な環境を作る事は難しく、家庭用の小さなクラゲ水槽は有りませんでした。

Jelly Cube シリーズは、家庭に置けるように機能を凝縮し、コンパクトに仕上げています。水族館等の大型水槽で、大型のクラゲを鑑賞するのも良いのですが、目の前でその成長と共に、不思議なクラゲの構造や動きを見るのは、楽しく飽きないものです。



Jelly Cube HC-01 は、100V 電源さえ有れば何処にでも設置出来ます。また、ミズクラゲの小さな個体を無償で配布していますので、直ぐにクラゲ飼育を始める事が出来ます。海水生物を飼育するのは難しいと思われるがちですが、海水を作ったり、生餌を食べますので餌の孵化作業など、日常の世話は必要ですが、慣れれば意外と簡単に飼育出来ます。クラゲ飼育の経験の無い方向けに、飼育のポイント解説資料も添付しています。

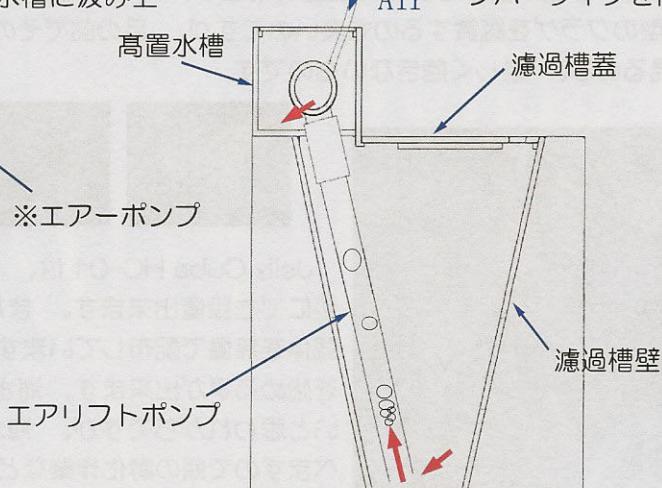
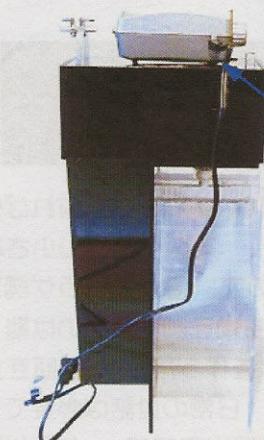
注意：この水槽には温調装置が有りません、常温で飼育出来るクラゲを選ぶ必要があります、ミズクラゲの場合、飼育の適温は20°C以下、最高でも25°Cまでの制約があります。



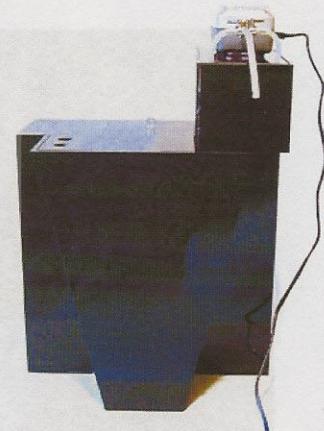
各部の名称と動作原理

1

濾過槽からエアリフトポンプで、海水を高置水槽に汲み上げます。

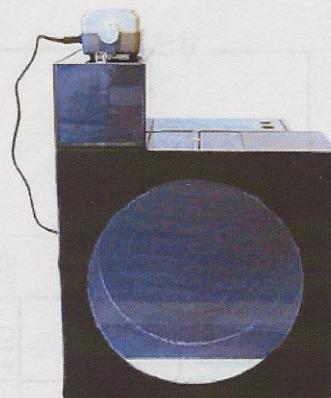
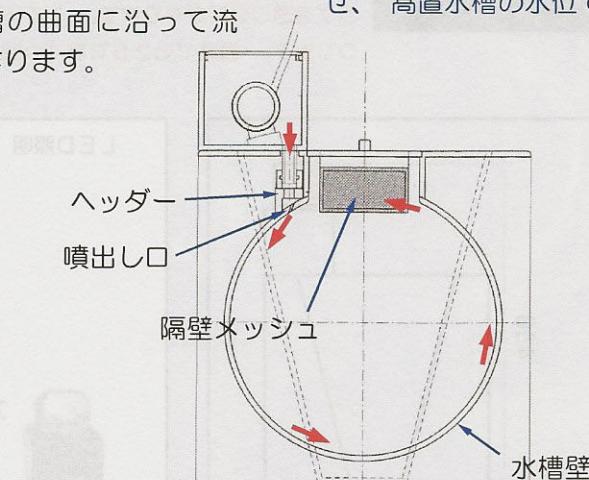


*エアーポンプは、生餌を孵化させる為に、水槽用と別系統に1つ必要なので、2チャンバータイプを標準添付しています。



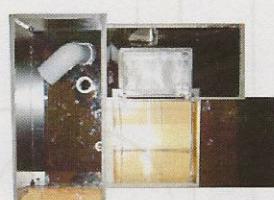
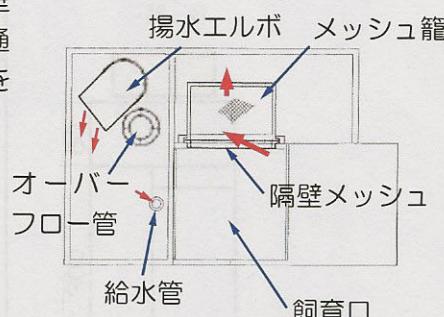
2

高置水槽に汲み上げられた海水は、自然流下しヘッダーを通り、噴出しきから水槽の曲面に沿って流れ、回転流を作ります。



3

水槽内を循環した海水は隔壁メッシュから、メッシュ籠を通り、食べかすや排泄物等の負荷を減らして濾過槽に戻ります。



製品のユニークな特徴

- ・アクリル板、塩ビ板、塩ビ管など複合素材で出来ています。
- ・コストダウンと強度アップの為に、今までタブー視されていたアクリルを溶接しています。
- ・濾過槽の負荷を減らす為に、メッシュ籠を設け、濾過槽への固体有機物の混入をし難くしています。
- ・ヘッダー部にエア抜きを設け、水槽内に気泡を混じり難くしています。
- ・多くの部分は、メンテナンスの為に外れるようになっており、パッキン等は使っていません。
- ・換水時の負担を減らす為、不要な空間を無くし水量を約8Lに抑えました。

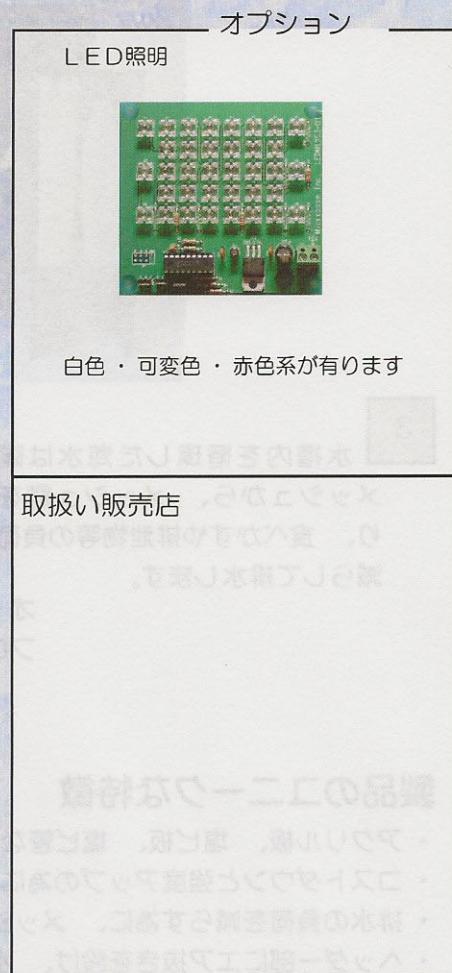
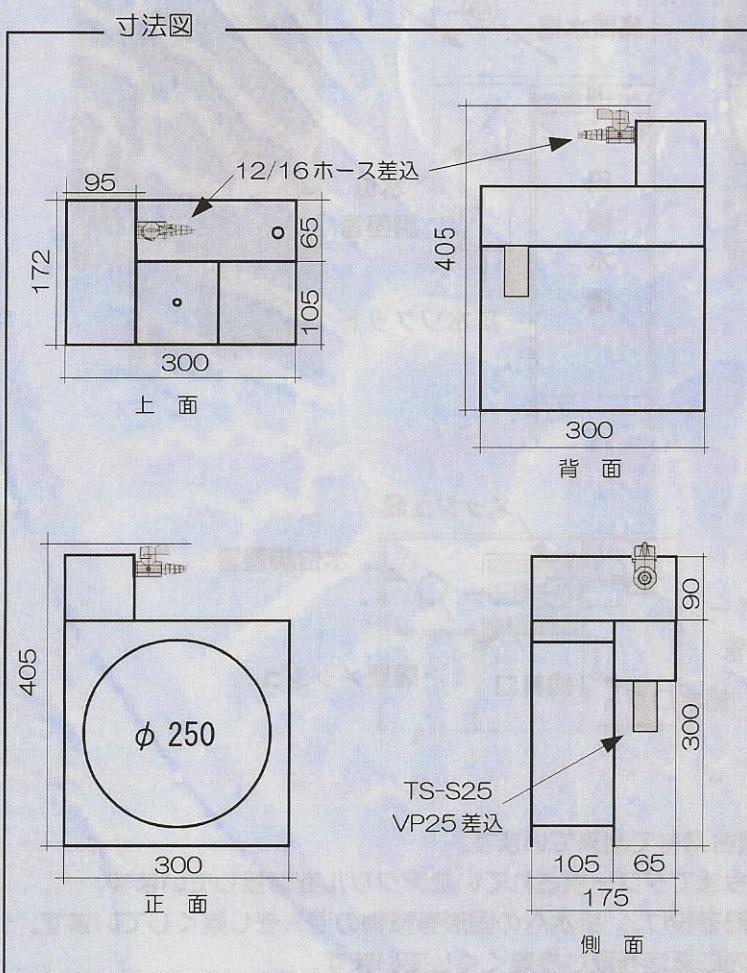
クラゲ飼育水槽 Jelly Cube HC-02

クラゲはプランクトンの一種で、水流の刺激によって拍動したり浮遊したりします、大きな水槽では水流を与え易く、クラゲの生態に合った環境を作り易いのですが、小さな水槽でその様な環境を作る事は難しく、家庭用の小さなクラゲ水槽は有りませんでした。

Jelly Cube HC02は、既に海水魚等を飼育されている方向けに、サブタンク仕様になっています、メイン水槽でお気に入りの生物を飼育していても、偶にはちょっと違った生物も飼育したいと思われる事も有るかと思います、そんな方の為に、海水循環系から分岐を取って簡単に設置出来るように作りました。



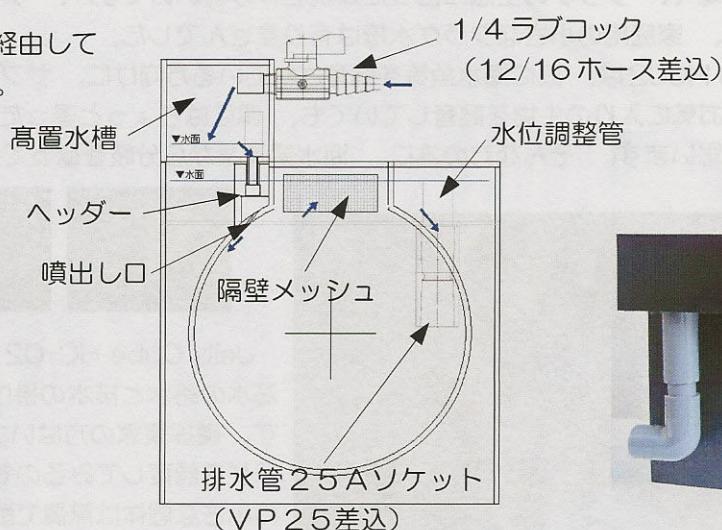
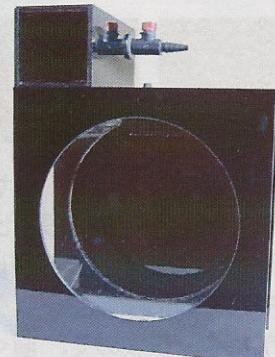
Jelly Cube HC-02は、全く動力は要りません、海水の給水と排水の掛け流しのみで簡単に設置出来ます、磯採集家の方はいつものフィールドで採集したクラゲを飼育してみるのも良いでしょうし、ミズクラゲの小さな個体は無償で配布していますので、直ぐにクラゲ飼育を始める事が出来ます。クラゲの種類にもよりますが、動物プランクトンを食べますので、餌の孵化作業など、日常の世話は必要ですが、慣れれば意外と簡単に飼育出来ます、クラゲ飼育の経験の無い方向けに、飼育のポイント解説資料も添付しています。



各部の名称と動作原理

1

循環海水をバルブを経由して
高置水槽に給水します。

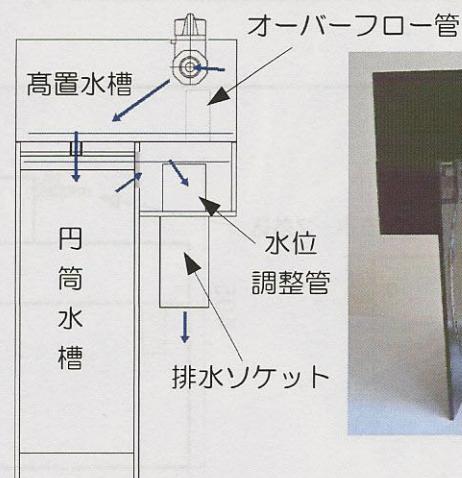


2

高置水槽に給水された海水は、自然流下しヘッダーを通り、噴出しき口から水槽の曲面に沿って流れ、回転流を作ります。

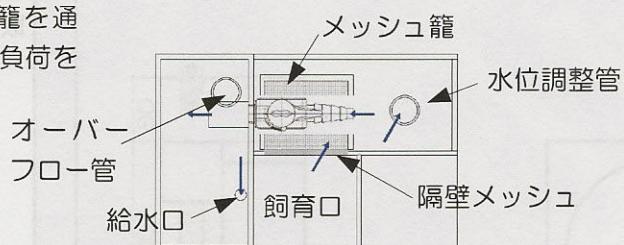


青色は、水の流れを表し、最適な海水の流れは、クラゲの種類や大きさにより異なるので、給水量を調整し、高置水槽の水位で管理します。



3

水槽内を循環した海水は隔壁メッシュから、メッシュ籠を通り、食べかすや排泄物等の負荷を減らして排水します。



製品のユニークな特徴

- ・アクリル板、塩ビ板、塩ビ管など複合素材で出来ています。
- ・コストダウンと強度アップの為に、今までタブー視されていたアクリルを溶接しています。
- ・排水の負荷を減らす為に、メッシュ籠を設け、排水への固体有機物の混入をし難くしています。
- ・ヘッダー部にエア抜きを設け、水槽内に気泡を混じり難くしています。
- ・多くの部分は、メンテナンスの為に外れるようになっており、パッキン等は使っていません。

クラゲ飼育水槽 Jelly Cube HC-03

クラゲはプランクトンの一種で、水流の刺激によって拍動したり浮遊したりします。大きな水槽では水流を与え易く、クラゲの生態に合った環境を作り易いのですが、小さな水槽でその様な環境を作る事は難しく、家庭用の小さなクラゲ水槽は有りませんでした。

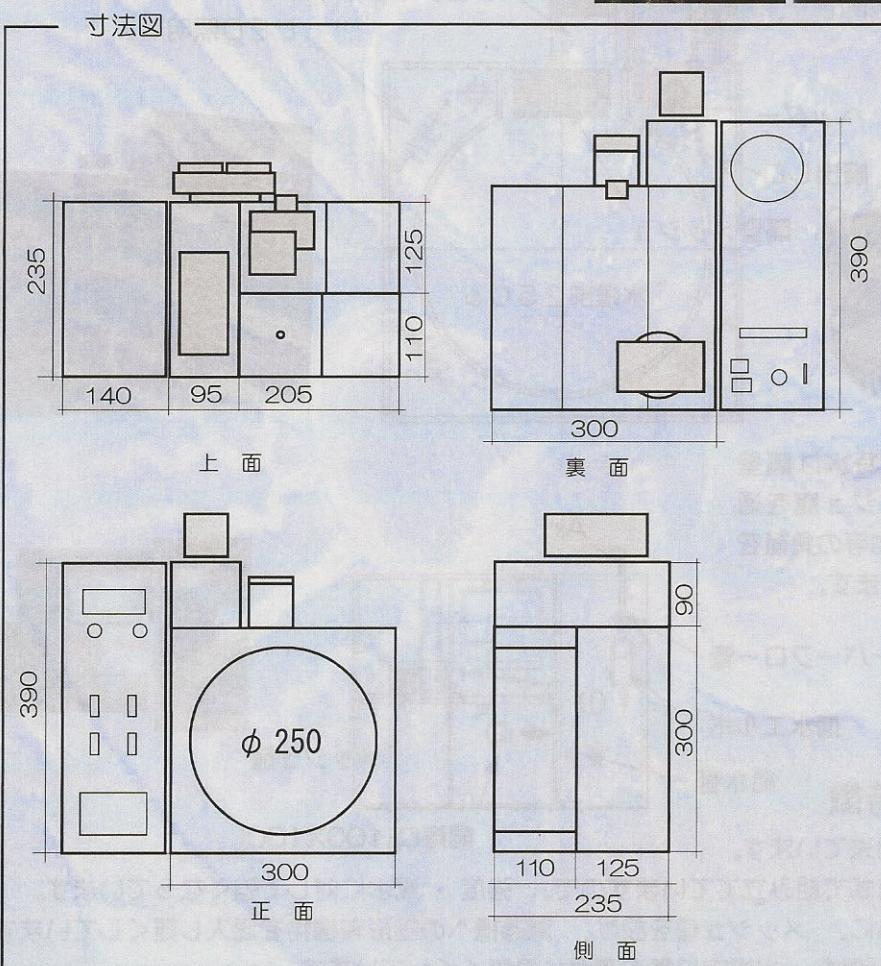
Jelly Cube シリーズは、家庭に置けるように機能を凝縮し、コンパクトに仕上げています。水族館等の大型水槽で、大型のクラゲを鑑賞するのも良いのですが、目の前でその成長と共に、不思議なクラゲの構造や動きを見るのは、楽しく飽きないものです。



Jelly Cube HC-03 は、水温調整にペルチエ素子を用いた電子温調方式に加えて、pH計、プロテインスキマー、照明器具を標準で備えています。

ミズクラゲの小さな個体を無償で配布していますので、直ぐにクラゲ飼育を始める事が出来ます。

海水生物を飼育するのは難しいと思われがちですが、海水を作ったり、生餌を食べますので餌の孵化作業など、日常の世話は必要ですが、慣れれば意外と簡単に飼育出来ます。クラゲ飼育の経験の無い方向けに、飼育のポイント解説資料も添付しています。



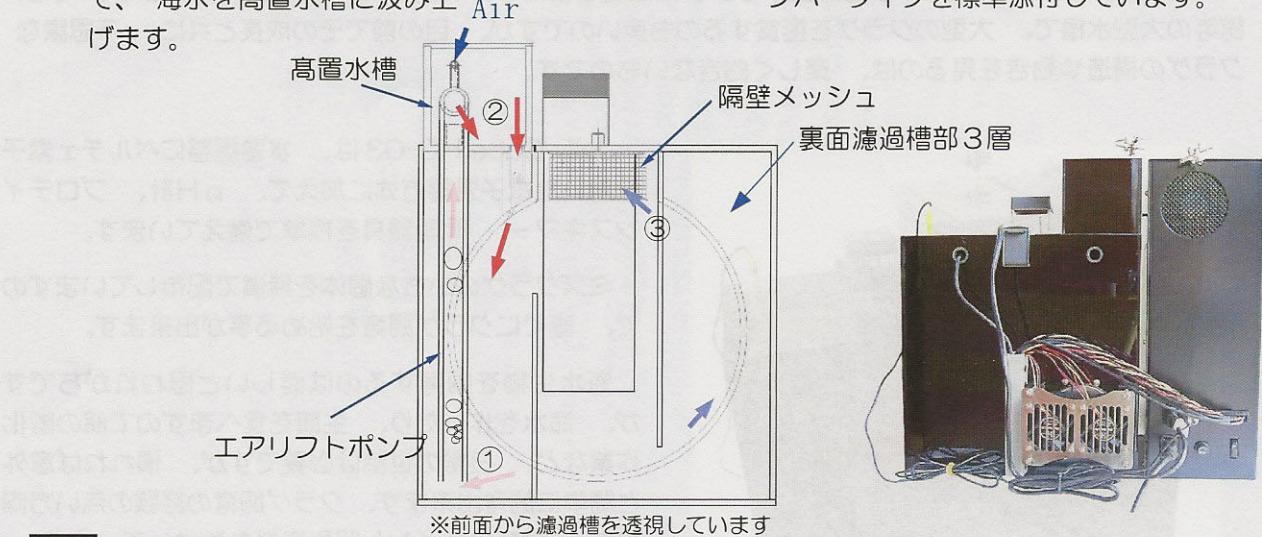
機械的な仕様

- ・エアーポンプ
100V 50/60Hz 2.2W/ 2W
- ・水中ポンプ
100V 50/60Hz 10W/ 9W
揚程 約 1.3 m
水量 約 600L/h
- ・コントローラ
温度調整、pH、照明
- ・ペルチエ素子
5V 8A X 3
- ・プロテインスキマー
100V 50/60Hz 7.1W/4.8W
- ・pH計
0.0-14.0
- ・LED 照明
12V 2.1W 1枚標準添付

各部の名称と動作原理

1

濾過槽からエアリフトポンプで、海水を高置水槽に汲み上げます。

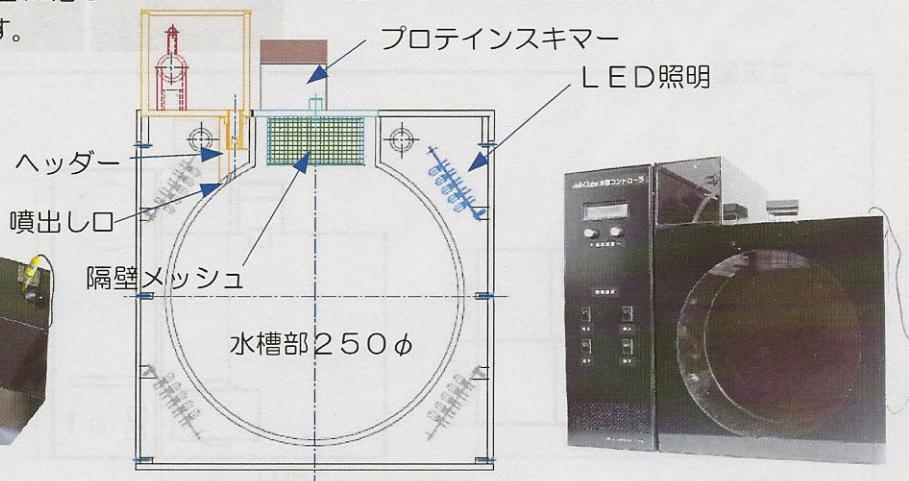
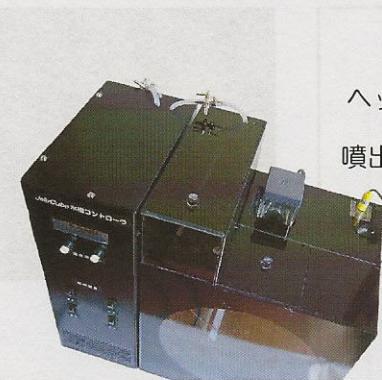


*エアーポンプは、生餌を孵化させる為に、水槽用と別系統に1つ必要なので、2チャンバータイプを標準添付しています。

2

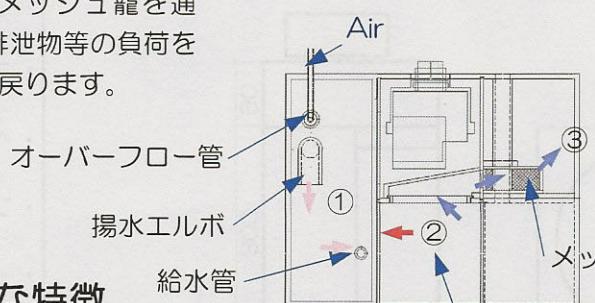
高置水槽に汲み上げられた海水は、自然流下しヘッダーを通り、噴出しきから水槽の曲面に沿って、回転流を作ります。

最適な海水の流れは、クラゲの種類や大きさにより異なるので、エアリフトポンプへの送気量を変化させ、高置水槽の水位で調整します。



3

水槽内を循環した海水は隔壁メッシュから、メッシュ籠を通り、食べかすや排泄物等の負荷を減らして濾過槽に戻ります。



製品のユニークな特徴

- オールアクリル樹脂で出来ています。
- 一クラス上の重合接着方式で組み立てていますので、強度・漏水に対して強くなっています。
- 濾過槽の負荷を減らす為に、メッシュ籠を設け、濾過槽への固形有機物を混入し難くしています。
- ヘッダー部にエア抜きを設け、水槽内に気泡を混じり難くしています。
- 多くの部分は、メンテナンスの為に外れるようになっており、パッキン等は使っていません。

クラゲ飼育水槽 Jelly Cube HC-04

クラゲはプランクトンの一種で、水流の刺激によって拍動したり浮遊したりします。大きな水槽では水流を与え易く、クラゲの生態に合った環境を作り易いのですが、小さな水槽でその様な環境を作る事は難しく、家庭用の小さなクラゲ水槽は有りませんでした。

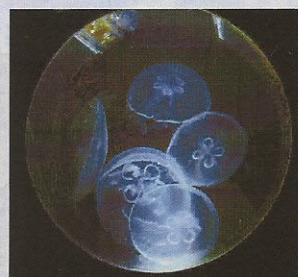
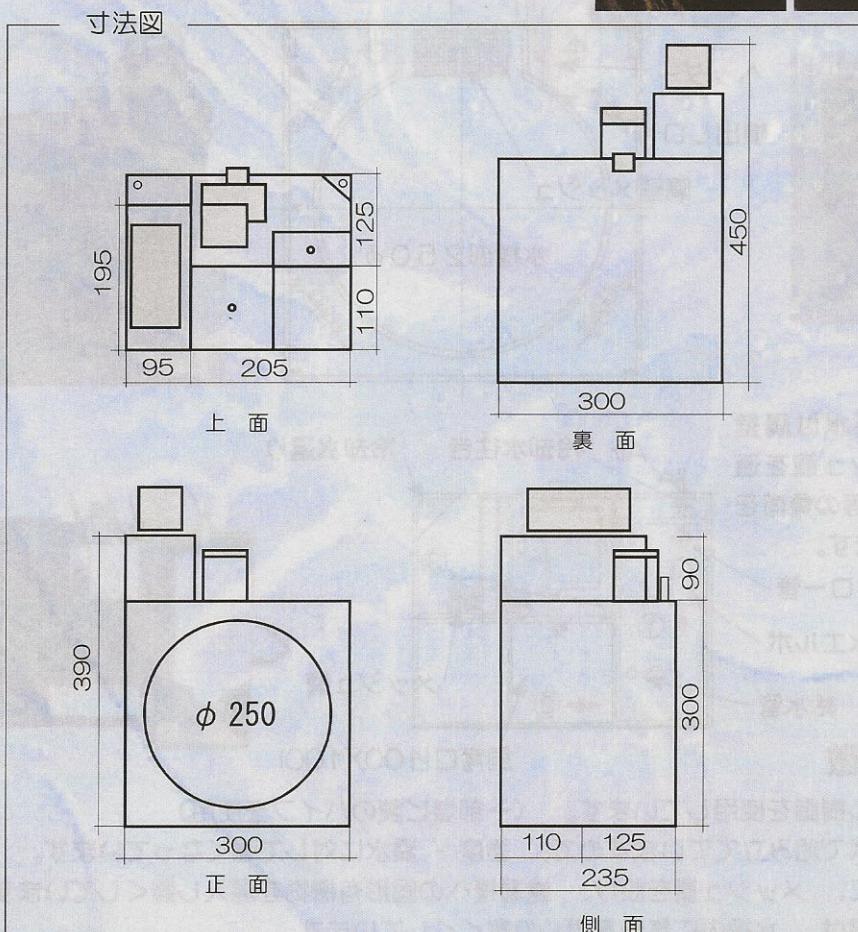
Jelly Cube シリーズは、家庭に置けるように機能を凝縮し、コンパクトに仕上げています。水族館等の大型水槽で、大型のクラゲを鑑賞するのも良いのですが、目の前でその成長と共に、不思議なクラゲの構造や動きを見るのは、楽しく飽きないものです。



Jelly Cube HC-04は、温調制御を市販のクーラーを外部に組み合わせる事により、コストダウンと冷却能力アップを図りました。プロテインスキマー、ヒーター、照明器具（1枚）を標準で備えています。

ミズクラゲの小さな個体を無償で配布していますので、直ぐにクラゲ飼育を始める事が出来ます。

海水生物を飼育するのは難しいと思われがちですが、海水を作ったり、生餌を食べますので餌の孵化作業など、日常の世話は必要ですが、慣れれば意外と簡単に飼育出来ます。クラゲ飼育の経験の無い方向けに、飼育のポイント解説資料も添付しています。

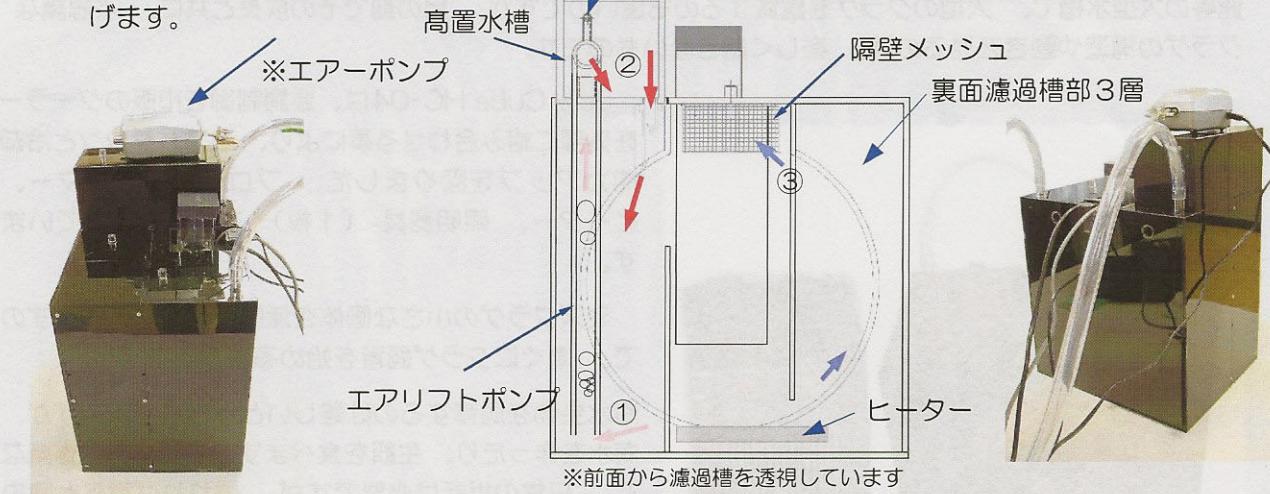


機械的な仕様

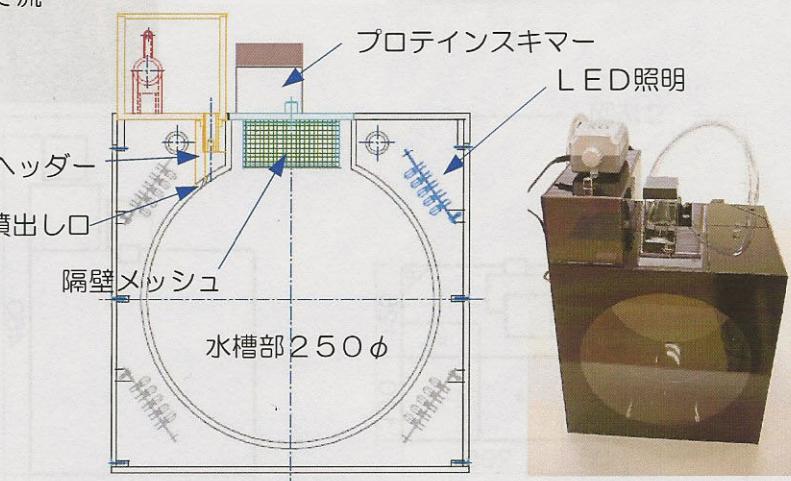
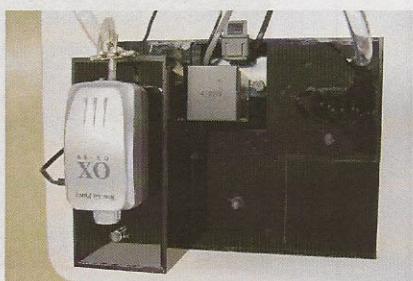
- ・エアーポンプ
100V 50/60Hz 2.2W/ 2W
- ・水中ポンプ
100V 50/60Hz 10W/ 9W
揚程 約 1.3 m
水量 約 600L/h
- ・クーラー
100V 50/60Hz 155W/165W
- ・ヒーター
100V 50/60Hz 50W 26°C
- ・プロテインスキマー
100V 50/60Hz 7.1W/4.8W
- ・LED 照明
12V 2.1W 1枚標準添付

各部の名称と動作原理

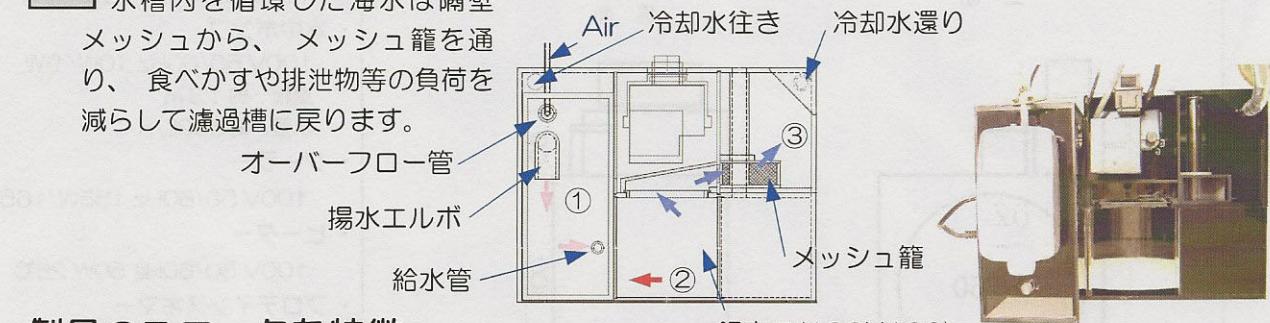
1 濾過槽からエアリフトポンプで、海水を高置水槽に汲み上げます。



2 高置水槽に汲み上げられた海水は、自然流下しヘッダーを通り、噴出しきから水槽の曲面に沿って流れ、回転流を作ります。



3 水槽内を循環した海水は隔壁メッシュから、メッシュ籠を通り、食べかすや排泄物等の負荷を減らして濾過槽に戻ります。



製品のユニークな特徴

- ・ほぼ全ての部材にアクリル樹脂を使用しています。（一部塩ビ製のパイプを使用）
- ・一クラス上の重合接着方式で組み立てていますので、強度・漏水に対して強くなっています。
- ・濾過槽の負荷を減らす為に、メッシュ籠を設け、濾過槽への固体有機物を混入し難くしています。
- ・ヘッダー部にエア抜きを設け、水槽内に気泡を混じり難くしています。
- ・多くの部分は、メンテナンスの為に外れるようになっており、パッキン等は使っていません。